

2026 年 10 月 27 日

9月企業向けサービス価格指数

～前年比+3.7%、国際運輸を中心に幾分加速～

経済調査部 主席エコノミスト 阿原 健一郎

(TEL : 050-5470-4868)

1. 9月の企業向けサービス価格指数は幾分加速

本日公表された9月の企業向けサービス価格指数は前年比+3.7%と、前月（同+3.5%）から伸びが幾分加速した。内訳を見ると、「運輸・郵便」の前年比寄与度が+1.36%ptと、前月（+1.11%pt）から拡大し、ヘッドラインを押し上げている（図表1）。

背景には、中東情勢の悪化を受けた迂回ルートの長期化や円安の影響により、「外航貨物輸送」が前年比+97.7%と高い伸びを記録したことがある。足もとのヘッドラインの加速は、こうした海外市況の急変動という特殊要因に牽引された面が大きい点に留意が必要である。

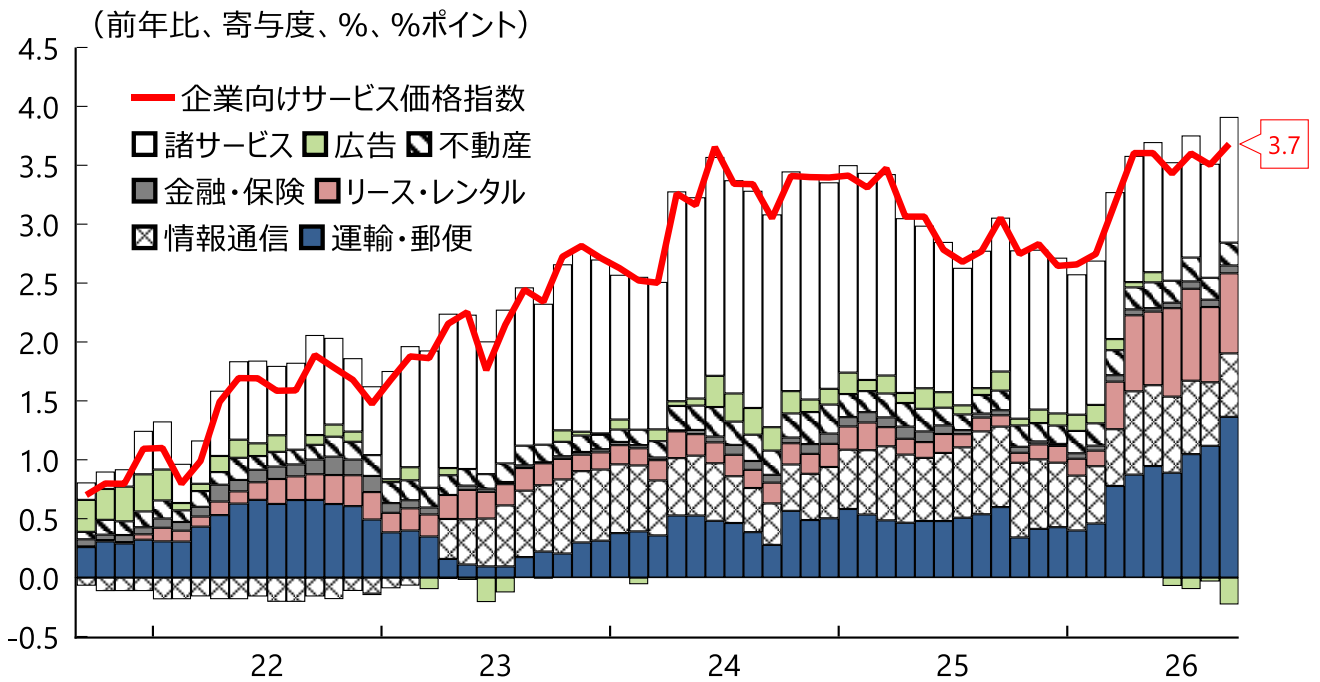
2. 除く国際運輸は横ばいで推移

外航貨物輸送などの海外市況や為替の影響を排除した、「企業向けサービス価格指数（除く国際運輸）」は前年比+2.9%と、前月（同+2.9%）から伸びは横ばいで推移した（図表2）。「低人件費率サービス」は、資本設備（船舶）や燃料費の比重が大きい外航貨物輸送等が分類されるため、同+4.8%と引き続き高い伸びで推移している。

賃金と物価の好循環の目安となる「高人件費率サービス」は同+2.6%と、前月（同+2.7%）からわずかに伸びが鈍化した。直近のピークからは増勢がやや落ち着いてきているものの、依然として前年比で+2%台半ばの安定した伸びを維持している。高い水準となった春闘の賃上げ結果を背景に、企業間取引において価格転嫁が一定のペースで進んでいることが確認できる。この価格転嫁のモメンタムが息切れせず、今後の物価の基調としてしっかり定着していくか、引き続き注視が必要である。

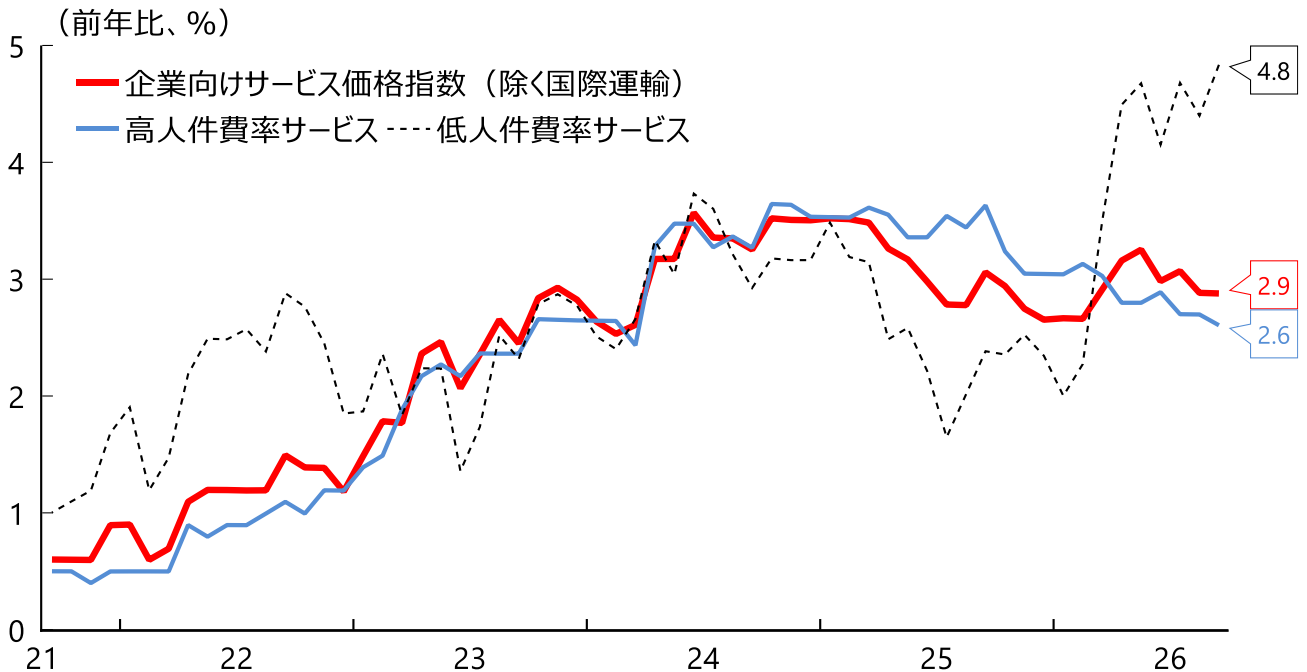
以 上

図表1 企業向けサービス価格指数の推移



(注)直近は9月。

図表2 参考指数の推移



(注)直近は9月。

(出所)Macrobondより第一ライフ資産運用経済研究所作成